

第614回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「忘れない3. 1 1 “秋刀魚” 勝負の秋！」

平成28年10月24日（月）

（株）I B C 岩手放送

第614回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成28年10月24日（月）午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 8名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 小松 務 畠山 俊彰 |
| | 岩田 圭司 栗田 均 |
| | 龍澤 尚孝 宮 順子 |
| 欠席委員の氏名 | 澤口 たまみ 村井 康典 |
- 会社側の出席
- | | |
|--------|-----------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 武田 敏哉 | 取締役放送本部長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 中島 勝志 | 報道局長 |
| 江幡 平三郎 | 報道部ディレクター |
| 萩原 康弘 | テレビ編成部副部長 |
- 事務局
- | | |
|-------|-----------|
| 若槻 修 | 番組審議会事務局長 |
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局員 |
4. 議題 「忘れない3.11 “秋刀魚”勝負の秋！」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 全体的に映像が鮮やかで人がエネルギッシュ。私のように海のことを知らない者にとっても入りやすくわかりやすかった。シンボルでもある大漁旗が明るいイメージを生み、いろんな問題を抱えていたとしても海の復興が進んでいる感じがした。
- 生活再建がすべて完了したわけではないと思うが、少子高齢化、人口減少という中で、この地域の産業を盛り上げていこうという方々を取り上げたことは大きな意味がある。生活は半ば再建されつつあるが、仕事がないと若い人が残らないし地域が衰退してしまう。それに一歩足を踏み出した方々のストーリーなのかと感じている。
- サンマの新鮮さが映像として伝わってきて、サンマにかける皆さんの思いが十分に感じられる番組だった。水産会社の復興に対する思いも非常に伝わってきた。一方、サンマを生業とする3つの会社の取り組みや、中国、台湾漁船の脅威を紹介しているが、ボリュームがあり過ぎて30分に詰め込み過ぎたのではないかな。やや消化不良と感じた。
- 全国の水揚げ高は7年前に比較して3分の1以下になっているが、大船渡では震災前を上回る水準に復活。地域を潤すほどの売上高があり、価格設定力もある。そういう丁寧な説明やわかりやすい説明があったので、サンマは被災地に活気と元気をもたらす復興のシンボルという特別感がよく伝わった。ベテランの大船渡の鎌田水産の会長と、釜石の若い濱幸水産の専務の新旧2人のイノベーターの比較を軸に、テンポの良いスピードで話を進めることで、一気に楽しんで見ることができた。
- 30分では伝えきれないものがかかなりあったのではないかな。5年間で5隻目という驚異的な回復力の原動力は何だったのか。しかも8億5,000万の船を毎年建造している。「サンマって儲かるのか」という変なことまで考えてしまったが、そのところをもう少し知りたかった。